

平成２９年度第２回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 平成２９年９月１日（金）午後２時から午後３時３０分
- 2 場 所 富里市役所３階第３会議室
- 3 出席者 本多円佳委員，尾崎悦子委員，寒郡茂樹委員，根本実委員，飯寄
富雄委員，原幸司委員，田中英之委員，櫻井優好委員
中山 健アドバイザー
(事務局) 市民経済環境部長，商工観光課長，商工観光課事務局
高須農政課長

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 富里市産業振興ビジョン（案）について
 - (2) スケジュール（案）について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

〔会議概要〕

1 開 会

（事務局より開会のあいさつ）

議事録作成のため会議を録音することを説明。市民経済環境部農政課高須課長の出席を報告。）

2 会長あいさつ

（会長あいさつ）

事務局 本日の会議の定数の報告をした。過半数以上の委員の出席があるので、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により当会議は成立している。本日の欠席している委員の報告をした。会議は、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定により会長が議長を務める。

議 長 本日は傍聴人はおられますか。
（傍聴人なし）

議 長 会議を再開します。
議題（1）富里市産業振興ビジョン（案）について

事務局 （資料により説明）

会 長 各委員から一言ずついただければと思いますが、私の方からいくつか論点をお話しさせていただき、それから各委員から一言ずついただければと思いますので、よろしくお願いします。

その中で、地域経済循環分析「リーサス」を見ておりますので、かなり参考になったのですが、この中で考えさせられることは、地域の特徴として、富里市では住宅賃貸業が最も付加価値を稼いでいる産業であるということを、どのように理解するかということはひとつの議論だと思っております。住宅賃貸業といいますと象徴的なのはアパート経営でございまして、一般的に富里市にお住まいの方はアパート経営は既に飽和状態ではないのかと思っております。客観的に見て付加価値を稼いでいる産業だということは良いのだけれど、今後の中で産業振興していく場合にどうするかということになるわけでして、規制するのはいかがなものかと思

いますが、違う形の転換をいかに図っていくかということが課題なのではないかと思っております。

先程、空港の中で働く人たちだけで、第三滑走路が機能強化すると8万人とおっしゃっていましたが、その周辺を含めるとまだ最終的なデータは出されていないようですが、10万人以上になるというのは公然のことと理解しております。ましては、空港の中は慢性的な人手不足と言われております。

富里においても、建設であったり小規模企業者であったり本当にどんなに高い給与を提示しても人が集まらない。これはもう人が住んでいただくようなことをやるしかないわけですが、この地域の特徴として住宅賃貸業で人に住んでもらうということになるわけで、やはりここは戸建てや現状ある建物をリニューアルすることによって、またそれに対する動線を便利にすることによって、もっと人が住みやすい、人口を拡大する政策をきっちりとらないといけないと思っております。それを産業的に誘導してあげるということをやっていくことが必然だなと思っております。

また、物流の業者さん、第二工業団地の物流業者等については、決して成田空港があるからということではなくて、首都圏からも1時間圏内で行けるということで交通網が便利なところではあるということで進出してこられる方も多いようでございますので、いろいろな会社の方が来られても人を担保できるということは戦略的にあることで、そこに産業を転化していくというのは必然だなと思いました。

また、食料品が最も付加価値を稼いでおりますが、富里市においても食品加工業は多い。富里市においては、農業が他の地域と比較して素晴らしいわけで、販路としては一般の小売もあるのでしょうか、こういうところに販売することも当然成り立つわけです。農商工連携もそうですし、地域全体の6次化ということもできるのではないかと。食料品加工には水が必要だとお話を聞いたことがありますので、工業団地を造る造らないという議論を今されているようでございますけれども、造るとすると逆に食品の産業を生かした水を豊富に使うことに特化してこの地域でやっていくことになるかと生産する方も良いし、加工する方も販路が首都圏と空港もあるとい

うことは成り立っていくのではないかと思いますので、産業を流動的にするべきなのかなと思っております。

農業もアンケートを見ますと、若い人たちが頑張っていることは全体的に感じたので、もっと若い人たちが頑張っていけるような環境ができるのではないかと思います。

創業支援については、データを見ますと富里市は比較的まずまずなのかなと。芝山町は14%くらいあります。酒々井町はアウトレットができた関係でのデータではないかと思えますけれども、成田及び印西含めますと富里市はまだまだやれることがあるのではないかと思います。創業についてはいろいろな政策ができるのではないかということを感じました。

D 委員 産業振興ビジョンの中で、前回24ページの「共生・共栄」という意見を述べさせていただきましたけれども、空港会社様との確認を取っていただきまして、せっかく載せていただきましたので、24ページ3の(3)「空港と共に生きること」ということでまさにその通りだと思いますけれども、共栄という言葉が中に入っておりますが、「共に栄える」という表現の方が前向きなのかなと思いました。全体的なイメージとしては、共生というのは成田空港を造る造らないという、そういう時代から使われている言葉で、更なる機能拡充ということで、空港と一緒に成長するということをビジョンに入れ込み前向きなイメージとしてほしいと思いました。

あと、いろいろなデータ、産業振興に関するアンケート調査ということを見て思ったことは、一般市民として農業従事者の方もそうでしょうけれども、ひとつひとつデータを拾って細かい数値をもってアンケートに答えているわけではないと思います。そういう数値を知る機会もないわけですから。このアンケートについては全体イメージとして回答されているのではないかと思います。ですので、若い方でたくさん農業従事者がいて良いという回答と若い方が少ないという回答が両方出てくるのだと思います。

産業振興なので、基本的には富里市の人口が増えるということに行きつくということが重要なのではないかと思います。経済的に発展すること、もっと言えば、景気が良くなることが必要だと思います。

す。皆景気が良くなったと言いつければ、少し景気が上向くことは無きにしも非ずだと思います。先程の空港の共栄の話も同様ですが、前進的な雰囲気などを作り出せていけば、こういうアンケートの回答についても変わってくる、市民意識が変わってくるのではないかと思います。

最後に、成田空港でも私の周りの特に女性ですが、空港で働きたいと、憧れのような職場であったが、その成田空港でさえも人手不足だという現状であれば、地元の小規模事業者はもっともっと深刻な状態であることは間違いない。

人口が増えることと仕事が増えることは両輪だと思いますが、せっかく成田国際空港を要する地域ですので、今後外国人の方をいろいろな業種で働けるような仕組みを考えていけたら良いと思いました。

C 委員

先程、会長からも話がありましたが、私はたまたま第二工業団地で食品会社をやっておりまして、スタートは機内食が中心でやっておりました。八街の方ではスーパー向けの物を作ったり、七栄の方ではカット野菜を中心にやっております。第二工業団地では八街と七栄の古い工場を集約するという事で新しく年内に完成する予定でおりますけれども、今の工業団地は食品会社が入れるというような、いわゆる水の問題、排水の問題がある。最初は排水も自家でろ過したもので数値を整えたうえで排水するという設備を6千万から7千万かけて整備するということが必要であった。

しかし、昨年4月からですか、生放流できることになったため、その排水設備を撤去して直接流せるようになった。インフラの部分が整わないと食品会社は工業団地へ入れないということが最初にある。食品専門の工業団地というのは他にたくさんあると思います。どの業種を工業団地内へ進出させるかという方向性は非常に大事なのかなと思います。

また、野菜についての話も出ましたので、富里の工業団地に移ってから、富里のJAさんと取組させていただいたが、機内食が中心だということとメニューが変えられないというところで、JAさんの野菜だけでは間に合わないの、市場さんと両方でやるとなると、常に量がある市場さんの方が強くなってしまい、今現在取引が

なくなってしまった。こちらで提案できるスーパーさん向けの商品であれば、半年先、1年先のメニューを組みながら開発することはできると思いますが、1年前に決まっているメニューを変えとなると、今ある物での対応ということが食品関連だと難しい。

成田空港近隣の宅地住宅という話が出ましたが、我々の工業団地以外の七栄もそうですけど市街化調整区域になっていまして、建物を建てられなかったことなどがありました。住宅については、多少緩和されたという話もありますが、そういうものがないと空港へ勤める方、住む方も増えないと思いますので、そういったことを含め緩和をすることで前向きに進めることができるのかなと思いました。

アドバイザー

農業者向けのアンケートについて、地域としてどうしていくかということですが、地域としての強み、地域としての資源をどう活用するか。強い部分をもっと強くするか、弱い部分を補強していくということで成長していくことに尽きる。

強い部分は、成田空港に近いという利点、それから地域資源として農業中心にスイカ、人参がありますので、もっと強化していく。6次産業化の問題は、食料品の付加価値をもっと高めていく。食品をそのまま販売することも重要だが、やはり加工することが重要で加工することによって付加価値が高まる。20%も30%も利益を生み出すことができる。そういった意味で食品加工のアイディアを出していく。

イベントも少ないということがありましたので、例えば食品加工のビジネスコンテストなどを開催して、人参の新しい商品開発などを生み出していき、ベンチャー企業を誘致する。

観光については、もちろんインバウンド、成田空港に近い利点を生かす。日本の空港に足りないのはトランジットツアーが不足している。空港周辺にお金が流れていかない仕組みになってしまっている。今空港とヒアリング等されていると思いますが、トランジットツアーとして1時間から2時間コースとして、海外には少なからずあります。空港では、5～6時間待っている人たちがたくさんいま

すから、バスで周辺をぐるっと周れるようにするなどの取り組みが必要。また、滑走路が増えますので、大量の人が利用することが見込める。その方々をうまく引き込むことが重要。これはもう旅行会社や空港会社との交渉となってくると思います。それはまさに観光と結びつけて、観光農園ということも新しい手立てになるのではないかと思います。

弱点については、後継者不足と人手不足については、もう日本全体で言える問題。特に小規模なところほどその問題は大きい。廃業や企業数の減少に繋がってしまっている。

農業系ですが、若手の方が非常に多い。40代以下の方が4割もいるというのは有効なことだと思います。それから後継者がいるという方もいらっしゃいますので、まだいいのではないかな。

商業、サービス系についても同じ問題を抱えている。それから工業、製造業も同様。後継者について、県の引き継ぎセンター等もあるので活用する。それからM&Aなどもありますので、いろいろ相談にのってあげることが必要になってくる。なるべく企業数を絶やさず増やす方向にしていく政策を考える必要がある。

人手不足の問題については、従業員の方が2千数百人の方が住んでいるので、これはおそらく住宅賃貸業だと思います。今大手が空き地があるとそこにアパート建てるというような動きをしておりますので、法人貸しなど法人1社につき、アパート1棟貸出しなどの中継ぎなどの政策的支援を行っていければ、空港方面も法人がたくさん入っていますので、まとめて従業員を入れたいという法人等もあると思うので政策で後押しできればいいかなと思います。

A 委員 先程、インフラ整備の話がありましたが、我々議会として、そもそもインフラ整備をしないで企業誘致をするという発想がナンセンスだと思いましたので、全て公共下水道を含めて整えるのは行政の仕事であって、そこに企業を誘致するというのが前提条件と思っておりましたので、現実を知り極めて残念だと改めて認識した次第です。今後、工業団地の整備予定があるならば業種も含め、状況整備を整えて誘致活動をするという前提条件を行政はしっかり担保していくべきだと思います。

あと、空港関係につきましても商工会さんや青年部の方々，それに関係する方々は極めて情報を収集して，富里市の発展を願うためのご尽力をされていると思いますけれども，残念ながら行政としてやはり情報収集に欠如している部分もあります。それは何故かといえ，ここにコメントされている空港関係の様々な構成を拝見すると，若干もう少し肉付けのある空港との位置づけというものを富里市としてもっと持つべきではないかというような感想をもった次第であります。

もう一点，6次産業の件についても個人的に6次産業化されている方もいらっしゃると思いますが，やはり富里市という特殊な環境を考えれば，行政が主体性を持って農協さんをはじめとした生産者と合わせて実体的な構想をしっかりと構築されていない限りはなかなか難しいと思います。個人の方が生産から加工まで行う6次産業化は今の富里市の農家の方々には残念ながらできません。あるいは，十数件，いわゆる集積農家というような考え方も超保守的な集落を束ねていくことには，大変混乱が生ずると思いますので，どこまでも行政側が主体性をもってしっかりと位置づけを作っていないとなかなか難しいと思います。しかし，難しいものを成就されるための力は行政には十分あると思いますので，心構えを作っていただければと思います。

もう一点だけ申し上げれば，認定農業者制度のお尋ね事項についても認定を受けている人と更新していない人がいるということで，約半数が認定農業者制度を理解しているわけですが，その反面，問4について見るとどうもアンケートに答えた方々の中の半分以上の方々はもっと充実してほしい，メリットを感じないようなアンケートになっておりますので，そういった認定農業者制度というものが富里市の農業制度の中で効果的に活用していくということであるならば，この辺の意見も極めて重要に受け止めていく必要があるのかなと感想としては受け止めたわけであります。

私の記憶だと確か富里市の認定農業者数は約300件近くだったと思いますが，そういう認定農業者制度の効果が生産者として所得水準を引き上げることを前提として，やはり効果が出てきませんと制度としても位置づけが失われていくようなこともありますので具

体的に分析することがよろしいのかなという感想を持ちました。

G 委員

野菜等の品種，種類ですが，前回出たデータからそのまま載せて出してくれたのかなと思います。ありがとうございます。

データの中で最初説明がありました，空港の中での人口比率ですが，できれば富里市は空港で働く人の何％を占めるのか出してもらいたい。佐倉市なども空港で働く人が多いというような話を聞いたことがあるが，それは他の市町村と一緒にになってしまっているのかなと。

あと，会長が話したように富里市は賃貸業が多いということに驚いた。懸念されるのが，農協もアパートを建てるから管理まで業者等も入ってきまして，新しいところに入るが，古いところには入らない，そういうところで空きアパートも増えてきているので，規制等を考えないといけない。今は調整区域でもアパート建てるようになってきているので，その辺の調整をやっていないといけないと思います。

あと，アンケートの中での人員が50数名という中ですから，本当はもっといろいろ思いがある人が書いたのかな。アンケートに答えるという人は真面目で協力的な人が書いてくれたと思う。大変参考になりました。

6次産業につきましては，本当の6次産業というのは自分で収穫して，自分で加工して，自分で売ることですが，それはなかなか難しい話で，富里でそこまでされている方というのは，なかなか個人ではできない。畜産でも他者に頼んでハムやソーセージなどを販売している。あるいは産直になくったら仕入れていますけれども。6次産業をみんなで一緒に作るということで，パンを女性部の方が作る場所もありますが，そう大きな商売というか，産業での工業化とかそこまでのものはできないけれども，道の駅や産直センターに行ったときに農家が作ったものが置いてあって，それが売れるような施設が増えればいいのかと思います。6次産業ではないけれども契約取引の中でデータにもある通り，じゃがいもについては，カルビーとの契約でもう30数年，カルビーのじゃがりこやポテトチップなどの取引が全国の農協の中では，農協対カルビーというのは珍しい，そういう取引をさせていただいている。また人参

がけっこうな量で出せていただいておりますけれども、人参についてもいろいろな販売ルートがあり、市場出荷もあれば、単純に給食に使ってもらうのもある。あるいはランク付けA品、B品、C品、あるいはサイズで大きいものから小さいものまでありますけれども、その中でできるだけ捨てないような、どうしても人参というのは割れてしまったりするけれども、その中でも使えるものは加工で、加工の中ではキャロットジュースだとか、カゴメさんとの取引も始めております。これも6次とは言えないのかもしれないが、そういった取組もしておることご理解いただいてもいいのかなと思っております。

先程、C委員もおっしゃっていましたが、なかなか量が揃えられなかったり、直接私のところにアスパラどうにかしてくれと言われてもできなかったりした。それから単価もそうですが、輸入物と日本産ではどうしても日本産の方が高くなるので、それで納められるのかどうかなどの調整も必要。

J Aも販売ルートの数を増やす取組をしておりますが、今は外資系ともやっていたのだけれど、震災以降は放射能の問題でやっていない。

ルートの的なメリットとしては、インターチェンジがある。東京に行くのにも近い。それから東京から発信されたものは関西に。富里人参は沖縄から北海道まで行っています。私も沖縄に視察に行ったときに富里が産直センターに売っていたことに驚いたことがある。農家の方もやりがいがあって、お金になって、いろいろ仲間もいるというのがいいのかなと思う。

それからこの中に載っている若いと見る人たちもいれば、やっぱり年をとっているのではないかと。これは、日本全国の農業者を見てみると富里は若いですね。スイカ部の部長さんはまだ60歳ぐらい。他のところに行くと70歳代。その他大根等の生産部はみんな50歳代で部長になってみんなを率いている。

今日もトマトの査定会でミニトマト、普通トマトで集まって、昨日は抑制スイカで、千葉日報とか千葉放送あたりが声掛けで来てもらっていた。

ですから、意外と富里市で農家の人たちと他の人たちとの結びつき

があまりないので、そのへんの情報発信を農協がやっていない。

かなり富里には視察が来ている。一時は農協系の農協観光とJTBなどが視察のためのツアーを考えてやろうとした矢先が震災でぼつになってしまった。

それから認定農業者制度の問題もありますけれども、認定農業者数は約400弱ぐらいだったと思います。更新しなくてはならないのですが、実は人参を作っている方々についてはですね、その年々の価格があります。その価格が安いときには価格補償というのがある。

その補償を受けるには認定農業者になっていないともらえないもので、その時に農家の人たちは1軒に1人でいいですからとやった経緯があります。そういったところで更新はどうだという時に、記入しているという人は更新しないけれども、新たに息子が後継いだからその人が認定農業者の資格を取ってやるような方もある。

それから、これから、農協改革等でこれから役員になる方も理事の大半は認定農業者、あるいは学識の方で組むようにということで平成31年5月頃、国を挙げてご指導されている。

もう少し、せっかく基幹産業は農業だということで内部的なところで配信するのもいいかなと思いました。あとは学校教育関係にも協力させていただき、子供用の月刊誌等も提供させていただいている。各学校に子供向けの野菜の育て方などを提供させていただいている。

F 委員 私は工業で、人手不足でマイナンバーというのがある。人がいないもので高齢者を雇って、年金をもらえないからバイトしているわけで、ネックになりまして、その方々はやめてしまった。機械を入れるとなると高い。人手不足は、みんな成田空港に勤めているとステータスが上がるのですかね、なかなか人が集まらない。素人さんを、弁当配達の方とかクリーニング屋さんを雇用して一から養成していくしかなかった。

これからは人手不足で団塊の世代、これからは東京オリンピックがありますけれどもだいぶ忙しくなる。それから忙しいから人を集めたいがなかなか集まらない。だからどうしたらいいか悩んでいる。農業もそうですが、成田空港を取り込んでとよく言うが、工業の方

も少し取り込むことを考えてもらいたい。

アンケートで議員さんが一生懸命働いていると書いてありますが、私も30年くらいいるけど、なかなか頼んでも動いてくれないというのが実感です。もう少し工業の方もだいぶ雇用も生んでおりますので、農業と工業の良いところを両方合わせて良いところは伸ばす、悪いところ改善していこうという形でお願いできればなと思います。

J 委員

富里に住んでまだ8年目ですので、知らないことがすごく多くて今拝見した中でも空港の件でも情報を知らないことが多いなと思いながら、感じたことをお話ししたいと思うのですが。

まず、空港で労働者が増えるのだと思った時に単純に思うとまた何か富里にも住む、ベッドタウンではないですが住む人が増えるのかなと思ったのですが、でも実態は空港にも募集してもなかなか人が集まらないということで、そんな簡単なことではないと思いました。農業が順調で強みを伸ばして、なおかつ人口を相対的に増やすとなると、何が必要かという自分が外から入ってくると考えた時に、もちろん交通の便もそうですが、やはり住みやすいというのは、お買い物なども含めて便利な生活ができないと、なかなか外から富里に住もうと決断ができない。そうすると商業の方も同じく発展していかないといけないなと思います。

それで、商業の方はどうしたらいいのかと考えたのですが、創業セミナーなどいろいろな企画がありますが、やはり創業セミナーをやって、そのあとその人たちに創業してもらって、住んでもらってというようにしてもらいたいわけです。やはり住居、ここで創業するんだったら、住宅補助などのスタートするための手助けというのがあれば決めやすくなるのではないかと思います。

そうすると財源はという話を仲間内でした時に、やはりそういうお金って出せないでしょうってことで終わってしまう。銀行の融資が借りやすくなりますよとか、そういう特典とかはあるのだけど、やはり生活となると、家賃とかの面で魅力になってくるのではないかなと思う。農業も他の地域から農業を体験しに来ていただくにしてもその時の補助など、やはりお金が必要だと思う。

今青年部でやっている婚活や、いろいろな地域のイベントで、ひ

よし青空市も、せっかく外から呼んで、ここを知ってもらった後、何か繋がる特典、そういうものが提示できればいいと考えております。

もし、便利やお得だとかということがあっても、必要なのは情報発信力だと思う。そういう情報を知ったら行きたいのにとう人にも届かなければ行けないので、課題はたくさんあるなと感じております。

I 委員 私は、農業従事者ということでこの会議に出せていただいておりますが、実は私の主人も８年くらいだったか、JALが国からの民事再生法を受けた時まで空港勤務でした。その時に思い切って空港の仕事は辞めてしまったのですが、いろいろと下請けの会社においてもお給料の面でも違ってきてしまうし、退職金等も違ってきてしまうので、空港の仕事は辞めてしまって、私が母と二人で農家をやっていましたので、母の仕事を覚えながら、スイカやトマトなどを作っている。８年くらい経ちますが、毎日が勉強だと言いながら一生懸命仕事しているが、天候に左右されることもあります。収入に関しては、今まで空港に勤めていたときは毎月決まったお給料が入ってきていましたけれども、農家というのは不作などがあり、作物が採れば儲かっている時期はあるかもしれませんが、資材とかの値段も上がっているし、なかなか大変だなと言いながら一生懸命やっている。

私の家は二区ですが、近くの小学校が今年３月に廃校になってしまった。小学校の跡地利用というのがまだまだ決まっていない状況だと思うので、その小学校を活用できて、人が寄ってきてもらえたらなと思っている。

会 長 その他ございますか。ないようですので、議題の（２）に進みたいと思います。議題（２）スケジュール（案）について事務局の説明をお願いします。

事務局 （資料により説明）

会 長 私の方でお聞きしている話だと，N A Aとの意見交換は大事だと思いますけれども，空港周辺の市町村で地域振興のことでいろいろ案を出されて，それを県の方で取り纏めをして9月の議会に出すということで，それがどのような状況になってくるのかということの方が意味大きいのかなと思っております。ですから，N A Aのこともそうですが，空港の機能強化に伴うこの地域全体が変わろうとしている中での産業振興としての位置づけが必要だと思いますので，フレキシブルでもいいのではないかと思いますけれども。

A委員 スケジュール的にはそんな感じですか。

A委員 県のヒアリングは，確か富里市は7月24日に行っていると思いますが，現状議会へはまだ非公開ということで，内容は明示されておられません。9市町が8月4日の最終日をもって県とのヒアリングを終了したのですが，そのことに関しての企画を含めた結果というのは不透明です。9市町でどのようなヒアリングの中で，機能強化を前提とした各市町のご要望がなされたということは，それぞれの市町まで確認しておりませんが，少なくとも富里市でどういうことを提言したかはまだ議会には明示されておられませんので，結果としての話は差し控えさせていただきたい。

会 長 その他よろしいでしょうか。よろしければ(3)その他は事務局からありますか。

事務局 事務局からは特にございません。

会 長 よろしければ，議事を終了させていただきます。進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございます。次第の4番その他ですが，事務局からは特にございませんが，委員の皆様から何かございますか。

次回の会議は10月予定ということで，事務局案としましては10月13日（金）に設定をさせていただければと思います。

また正式に文書の方でお知らせをさせていただければと思います。

その他ないようでしたら，会議を終了させていただければと思います

がよろしいでしょうか。

以上をもちまして、平成２９年度第２回富里市産業振興推進会議を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。